

健康危機管理研修開催要領

1 研修目標

健康危機に際し、保健所、市町、関係機関が迅速に連携を取り合って、それぞれの役割が発揮できるよう、基礎的知識と実践能力を習得する。

2 対象者

市町及び健康福祉センター（保健所）などの地域保健関係職員、保健福祉施設などの保健関係職員等

3 開催日

平成26年2月10日（月）

4 日程及び内容

9:20	受付
9:50	開会・オリエンテーション
10:00	講義・演習 「災害時における保健活動 ～地域保健関係職員の役割と平常時からの体制づくり～」 国立保健医療科学院 生涯健康研究部 上席主任研究官 奥田 博子
12:00	昼食・休憩
13:00	講義・演習 「災害時における保健活動 ～地域保健関係職員の役割と平常時からの体制づくり～」 国立保健医療科学院 生涯健康研究部 上席主任研究官 奥田 博子
14:30	休憩
14:45	研修復命 「放射線事故や原子力災害時の地域保健上の対応に関する研修」 萩健康福祉センター 健康増進課長 播摩 祐治
15:45	

5 開催場所

山口県健康づくりセンター 第1研修室（2階）

〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1番1号 山口県総合保健会館内

TEL：083-934-2200 FAX：083-934-2209

6 申し込み方法

- (1) 申込方法 別紙「受講申込書」を郵送又はFAXで提出してください。
なお、当センターのホームページからも申し込みできます。

(URL : <http://www.hwy.or.jp/center/>)

- (2) 申込期限 **平成26年1月27日(月)**

- (3) 申込先 山口県健康づくりセンター

7 受講料

無料

8 その他

- (1) 駐車場は、**総合保健会館専用駐車場・臨時駐車場**をご利用ください。
来館者の迷惑になりますので**会館敷地内への駐車はできません。**
- (2) 昼食(お茶付き弁当)を希望される方は、1個600円(消費税込み)で、
当日斡旋します。
- (3) 研修に関しての質問がありましたら、申込書に併せて御記入ください。
- (4) 受講申し込み後、都合により欠席する場合は、すみやかに連絡をお願いします。

◇研修担当から◇

今年度の研修は、阪神淡路大震災を経験され、その後国立保健医療科学院で健康危機管理(自然災害)や地域ケアシステムの研究に取り組んでおられる奥田先生を講師にお迎えし、災害時の効果的な保健活動体制の構築について、ソーシャルキャピタルの視点を含めて学びたいと思います。

加えて、放射線災害について学び、放射線防護に関する業務を行うための知識・技術を共有し、放射線災害特有の問題への対応について考える機会とします。

大規模災害も含めて、多くの健康危機管理が実際に起こっている近年を振り返ると、今すぐにでもできる準備から始める意識を高めたいと考えて研修を企画しました。できるだけ多くの職種で学び合う機会にしたいと考えていますので、地域保健関係職種の皆様の御参加をお待ちしています。